



公益財団法人社会貢献支援財団、 「平成22年度社会貢献者表彰」の 受賞者を発表

人命救助の功績など三分野50件の受賞者に表彰状と日本財団賞として副賞50万円が贈られます。

公益財団法人社会貢献支援財団（会長 日下公人）は、「平成22年度（第40回）社会貢献者表彰」の受賞者を発表した。

同財団は日本財団の助成を受け、社会の各分野で顕著な功績を挙げながら、社会的に報われる機会の少ない方を対象に、昭和46(1971)年以来、毎年秋に社会貢献者表彰を行っており、昨年までの表彰件数累計は、1万1千8百件以上に上っている。

5月31日までに寄せられた223件の推薦の中から選考の結果、1.「人命救助の功績」11件、2.「社会貢献の功績」34件、「特定分野の功績」5件、合計50件を表彰することとなった。

なお、表彰式典は11月16日（火）にANAインターコンチネンタルホテル東京(旧全日空ホテル)で行われる。

「平成22年度社会貢献者表彰」の概要

- *候補： 223件
- *受賞： 50件

受賞内訳

- ・人命救助の功績： 11件(17名)
- ・社会貢献の功績： 34件(22名13団体)
- ・特定分野の功績（海の貢献賞）： 5件(3名2団体)

功績区分の内容

1. 人命救助の功績

- ・海難・水難、交通事故、遭難等に際し、身命の危険を冒して救助・救援に尽くされた功績
- ・犯罪等の発生に際し、身命の危険を冒してその解決に協力された功績
- ・災害・事故・犯罪の発生を未然に防いだ功績

2. 社会貢献の功績

- ・精神的・肉体的な著しい労苦、危険、劣悪な状況に耐え、他に尽くされた功績
- ・困難な状況の中で黙々と努力し、社会と人間の安寧・幸福のために尽くされた功績
- ・先駆性、独自性、模範性などを備えた活動により、社会に尽くされた功績

3. 特定分野の功績

『海の貢献賞』

- ・海の安全確保、環境保護、汚染防止等に尽くされた功績
- ・海に関わる産業分野において
 - 傑出した技能による同分野への貢献と技能の伝承に尽くされた功績
 - 優れた発明・考案・改良等により同分野の発展に尽くされた功績
- ・海に関わる文化の発展・保存・伝承等に貢献された功績

表彰選考委員

委員長 塩川 正十郎 (元財務大臣)
 内館 牧子 (脚本家)
 大武 健一郎 (大塚ホールディングス株式会社 代表取締役副会長)
 山根 基世 (元NHKアナウンサー)
 米長 邦雄 (社団法人 日本将棋連盟 会長)
 吉永 みち子 (作家)

リリース内容、取材等のお問い合わせ先

公益財団法人社会貢献支援財団 <http://www.fesco.or.jp>

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16 海洋船舶ビル2階
 TEL : 03-3502-0910
 FAX : 03-3502-7190
 E-mail: fesco@mve.biglobe.ne.jp

平成22年度 表彰受賞者 (計50件)

【人命救助の功績】11件 (17名) (敬省略)

番号	受賞者名	年齢	都道府県	備考
1	松内 卓司	52 歳	香川県高松市	
	大森 健人	17 歳	香川県高松市	
	山口 洸平	16 歳	香川県高松市	
2	川口 太郎	41 歳	福岡県粕屋郡	
	秦 康平	30 歳	福岡県福津市	
	河村 誠	40 歳	愛知県北名古屋市	
	上園 広宣	36 歳	福岡県福岡市	
3	道本 正行	62 歳	兵庫県伊丹市	
4	石田 敦士	37 歳	静岡県静岡市	
5	山城 則幸	55 歳	沖縄県糸満市	
6	鈴木 正	41 歳	福島県西白河郡	
7	井上 定義	63 歳	山口県岩国市	
8	佐藤 弘樹	25 歳	東京都昭島市	
9	マルティネス 裕幸	19 歳	神奈川県川崎市	
10	島津 篤	51 歳	新潟県新潟市	
	益原 三郎	60 歳	新潟県新潟市	
11	大谷 照男	52 歳	東京都東久留米市	

【社会貢献の功績】34件（22名 13団体）

番号	受賞者名	年齢	都道府県	備考
12	佐藤 エミ子	78 歳	東京都文京区	
13	高橋 竹夫	72 歳	石川県加賀市	
14	鈴木 静穂	71 歳	静岡県静岡市	
	鈴木 幸枝	67 歳	静岡県浜松市	
15	酒井 久江	68 歳	東京都青梅市	
16	山本 和子	78 歳	和歌山県和歌山市	
17	八王子朗読の会 “灯”	—	東京都八王子市	
18	特定非営利活動法人 のべおか城昇会	—	宮崎県延岡市	
19	榊原 千秋	48 歳	石川県小松市	
20	桐生 清次	76 歳	新潟県新発田市	
21	高見 国生	67 歳	京都市上京区	
22	上野 和彦	58 歳	愛知県日進市	
23	NPO 法人 自殺防止ネットワーク風	—	千葉県成田市	
24	社会福祉法人 千葉いのちの電話	—	千葉県千葉市	
25	茂 幸雄	66 歳	福井県福井市	
26	特定非営利活動法人 外国人医療センター	—	愛知県名古屋市長	
27	V・GOLD	—	北海道旭川市	
28	坂上 和子	56 歳	東京都江東区	
29	内田 和子	70 歳	東京都八王子市	
30	山崎 一誠	74 歳	島根県出雲市	
31	植原 康治	82 歳	群馬県前橋市	
32	Dio クラブ太助	—	千葉県柏市	
33	竹内 敬一	56 歳	山梨県北杜市	
34	山口 哲二	82 歳	佐賀県伊万里市	
35	くるみクラブ	—	東京都三鷹市	
36	函館ひまわりの会	—	北海道北斗市	
37	木村 義次	92 歳	徳島県徳島市	
38	梅本記念歯科奉仕団	—	大阪府大阪狭山市	
39	社会福祉法人 国際視覚障害者援護協会	—	東京都板橋区	
40	NPO 法人 希望の車いす	—	東京都練馬区	
41	森本 喜久男	63 歳	カンボジア王国	
42	NPO 法人 かものはしプロジェクト	—	東京都渋谷区	
43	谷垣 雄三	69 歳	ニジェール共和国	
44	川原 尚行	45 歳	スーダン共和国	
45	Lawrence F. Campbell	68 歳	アメリカ合衆国	

【特定分野の功績 「海の貢献賞」】5件（3名 2団体）

番号	受賞者名	年齢	都道府県	備考
46	和白干潟を守る会	—	福岡県福岡市	
47	特定非営利活動法人 南の島々（ふるさと）守り隊	—	沖縄県八重山郡	
48	金城 浩二	40 歳	沖縄県読谷村	
49	大門 清春	59 歳	広島県広島市	
50	中尾 福良	79 歳	広島県福山市	

受賞者のプロフィール [50件・敬省略]

1.人命救助の功績・11件(17名)

- ・海難・水難・交通事故、遭難等の際し、身命の危機を冒して救助・救援に尽くされた功績
- ・犯罪等の発生の際し、身命の危険を冒してその解決に協力された功績
- ・災害・事故・犯罪の発生を未然に防いだ功績

まつうち たくじ (52歳/香川県高松市)

おおもり けんと (17歳/香川県高松市)

やまぐち こうへい (16歳/香川県高松市)

平成21年7月28日午後4時頃、高松市女木島海水浴場で、男性がおぼれているのを発見し、水深約3mの海底に沈んでいた男性を救助した。心肺停止状態だった男性に心臓マッサージを行うなどの救命措置を施し、男性は一命を取り留めた。

推薦者/社会貢献支援財団

かわぐち たろう (41歳/福岡県)

はた こうへい (30歳/福岡県)

かわむら まこと (40歳/愛知県)

うえの ひろのぶ (36歳/福岡県)

平成21年5月1日午後5時頃、博多市博多区の御笠川(水深約1.5m)沿いの道路でボール遊びをしていて転落した男児を川口氏、秦氏が川に飛び込み確保し、河村氏、上園氏の協力により男児を護岸に引き上げ救助した。

推薦者/社会貢献支援財団

みづもと まさゆき (62歳/兵庫県伊丹市)

平成21年8月28日午後3時30分頃、箕面市箕面公園の箕面川沿いにある売店付近で、男児が溺れていると知り、約8メートルもの高さの垂直に近い崖を降り、上着と靴を脱いで水中に入り男児を確保し、到着した救急隊に男児を引き渡し救助した。

推薦者/全国消防長会 会長 新井 雄治

いしだ かつし (37歳/静岡県静岡市葵区)

平成21年8月1日 14時15分頃、静岡市駿河区用宗港東側突堤で家族と釣りをしていたところ、反対側の突堤で溺れている男性を発見し着衣のまま海に飛び込み、水没していく男性を岸まで移動させ救出し、救急隊到着までのあいだ心肺蘇生法を施し救助した。

推薦者/全国消防長会 会長 新井 雄治

やましる のりゆき (55歳/沖縄県糸満市)

平成21年9月13日午後6時10分頃、糸満漁港の岸壁に腰かけていた5歳の男児が真後ろに海に落ちたのを目撃し、着衣のまま海へ飛び込んだ。その際、足の裏に約10cmの切り傷を負いながら溺れている男児を抱きかかえて救助した。

推薦者/全国消防長会 会長 新井 雄治

鈴木 正 (41 歳／福島県西白河郡中島村)

平成 21 年 5 月 10 日午前 6 時 50 分頃、近所ですでに火の手が回り中に入れない住宅火災を発見し、2 階のバルコニーで助けを求める一家 4 名をバルコニー下に掛けた脚立に上り手を差し伸べて救出した。

推薦者／全国消防長会 会長 新井 雄治

井上 定義 (63 歳／山口県岩国市)

平成 22 年 2 月 24 日午前 7 時 30 分頃、自宅近くの木造 2 階建住宅から煙が上がっているのに気づき現場に駆け付け、黒い煙が充満し炎が上がっている建物内に入り、老女を屋外へ救出し、再び建物内へ入り燃えている石油ストーブを引きずり出し、延焼中の台所に水をかけて消火した。

推薦者／全国消防長会 会長 新井 雄治

佐藤 弘樹 (25 歳／東京都昭島市)

平成 22 年 2 月 15 日の夜、杉並区 JR 中央線高円寺駅で線路上に女性が転落したのを目撃し、線路に飛び降り電車が迫るなかで咄嗟に女性の体の位置をレールの間のくぼみに動かし、電車は女性の上を通過し停止し、女性を救助した。

推薦者／財団法人 警察協会 会長 今泉 正隆

マルティネス 裕幸 (19 歳／神奈川県川崎市麻生区)

平成 21 年 6 月 22 日午後 1 時 48 分頃、京浜急行線の屏風浦駅のホーム上にいた女性が突然線路に飛び降り線路上に横たわったのを目撃し、電車が接近するなかで線路上に飛び降り、女性をホーム下のスペースに引きずり込み、救助した。

推薦者／財団法人 警察協会 会長 今泉 正隆

島津 篤 (51 歳／新潟県新潟市)

益原 三郎 (60 歳／新潟県新潟市)

平成 22 年 3 月 30 日午後 3 時頃、新潟市中央区の銀行の駐車場で、島津氏が女性が車の中で男に金づちで殴られ、血だらけになっているのを目撃し、男から金づちを奪って女性を救出し、男が自分の車で逃走しようとしたところを益原氏が車の前に立ちはだかつて阻止し警察に通報、男の逮捕に協力した。

推薦者／社会貢献支援財団

大谷 照男 (52 歳／東京都東久留米市)

平成 22 年 3 月 18 日午前 7 時 30 分頃、東京都北区の JR 山手線の電車内で、父母を探すように激しく泣いている幼児と一緒にいる男を不審に思い、声をかけ田端駅で降車させて駅員を通じて警察に通報した。幼児は東久留米市のスーパーから連れ去られていたことが判明し、幼児は保護され、男の逮捕に協力した。

推薦者／山下 孝士

2.社会貢献の功績 34 件 (22 名 13 団体)

- ・精神的・肉体的な著しい労苦、危険、劣悪な状況に耐え、他に尽くされた功績
 - ・困難な状況の中で黙々と努力し、社会と人間の安寧・幸福のために尽くされた功績
 - ・先駆性、独自性、模範性などを備えた活動により、社会に尽くされた功績
-

佐藤 エミ子 (78 歳 / 東京都文京区)

自身も難病である膠原病を抱えながら同病の患者の会を結成され「全国難病団体連合協議会」の会長を務めながら、昭和 52 年に東京・文京区に稀少難病患者の会「あせび会」を設立した。難病に関する電話相談を 40 年にわたり受け続けると同時に、難病者の保養施設や福祉ホームの建設など難病患者の医療と福祉の充実を目指して活動されている。

推薦者 / 秋本 福子

高橋 竹夫 (72 歳 / 石川県加賀市)

加賀市の山中に手づくりで施設を整え、二十歳の頃より 50 年にわたり非行に走った青少年の自立更正支援や障がい者の就労支援、そして引きこもりやニート、また社会から阻害されがちなホームレスの社会復帰支援などを続けている。平成 13 年には「福寿草の郷」として同県で 3 番目の NPO 法人の認可を受け活動を続けられている。

推薦者 / 室谷 弘幸

鈴木 静穂 (71 歳 / 静岡県静岡市葵区)

鈴木 幸枝 (67 歳 / 静岡県浜松市)

共に全盲女性で、鍼灸治療業の傍らボランティアで毎年視覚特別支援学校に寄せられる多くの点字本の校正を約 50 年間、2 人合わせて 1 千冊以上も行なう活動を続けられている。

推薦者 / 竹内 龍幸

酒井 久江 (68 歳 / 東京都青梅市)

点字を学び地域で点訳の協力をしたのに始まり、昭和 43 年に全国で 2 番目に設立された東京の盲老人福祉施設「聖明園」に勤務する傍ら、全国盲老人福祉施設連絡協議会の事務局員をボランティアで引き受け、盲老人福祉施設の調査研究、職員研修の企画から開催、盲大学生奨学金制度の創設や海外の盲人福祉協会との交流など、視覚障害者福祉一筋に 42 年にわたり活動を続けられている。

推薦者 / 日本盲人社会福祉施設協議会 会長 本間 昭雄

山本 和子 (78 歳 / 和歌山県和歌山市)

昭和 45 年に、有志で視覚障害者を対象とする録音図書制作を目的に和歌山市で「朗読ボランティアグループ・声」発足させた。京都市の劇団出身であり、地方局のアナウンサーを勤めたこと等の経験を活かし、朗読指導、録音、編集、企画、運営など、活動の全般を担い、「ボランティアであっても技術はプロ並みに」を目指し 40 年間にわたる活動を続けられている。会員は大人 88 名、小学生 39 名。

推薦者 / 井谷 美也子

八王子朗読の会 “灯” (東京都八王子市)

昭和 52 年に八王子市に発足した音訊(朗読)を中心に福祉活動を行うボランティアグループで、今年で 33 年目を迎える。123 名の会員が①録音図書制作、②校正、③テープ雑誌「街かど」④対面朗読、⑤週刊誌、⑥新聞リーディング、⑦俳句、⑧デージー⑨蔵書管理の 9 つのグループに分かれ、常に視覚障害者の立場に立って「目の代わり」を意識し、心のこもった「声のボランティア」を目指して活動されている。

推薦者／八王子市教育委員会 教育長 石川 和昭

特定非営利活動法人 のべおか城昇会 (宮崎県延岡市)

平成 2 年 6 月より延岡市で障がい者の地域社会における自立生活支援事業を行うことにより、福祉の増進を図る目的で会を設立して以来、20 年間にわたる活動を行っている。通所生のための体験事業として農作業を実施、野菜類の栽培収穫、販売を行い、能力開発として養殖事業、リサイクル事業や公共施設の清掃受託、民間不動産業者と提携し引越し作業、清掃作業などを行う。更に、精神保健福祉の啓発や教育機関との協同してボランティアや学生を受け入れ利用者と学生の交流の場も提供されている。

推薦者／社団法人 日本精神保健福祉連盟 会長 保崎 秀夫

榊原 千秋 (48 歳／石川県小松市)

小松市で保健師活動や助産院をされていたが、九死に一生を得る交通事故に遭い病床で多くの体験をし、ALS(筋委縮性側索硬化症)患者との出会いで難病支援の活動を始めた。難病支援活動にとどまらず、地域の生と死の文化を豊にするための活動としてコミュニティハウスのコンセプト設計やがん患者のための緩和ケアを語る会などを設立した。「いのちにやさしいまちづくりネットワーク」を設立し代表を務めながら 14 年にわたり活動を続けられている。

推薦者／秋山 正子

桐生 清次 (76 歳／新潟県新発田市)

新潟県内の中学校の特別支援学級の教諭や大学の講師を勤めながら、知的障害者の就労問題に取り組んだ。平成 6 年に定年退職した後、知的障害者の通所授産施設「虹の家」の園長となった。企業と行政と施設が協調し、利用者が企業の社員として就労する方法により、新発田市周辺に 4 ヶ所の施設を作り 180 人以上を受け入れるなど活動を続けられている。

推薦者／川野 楠己

髙見 国生 (67 歳／京都府京都市上京区)

認知症の人とその家族に対する施策や制度のないなかで、昭和 55 年に日本初の「認知症介護家族の自助集団の会」を京都市で発足させ、設立以来 30 年間の長きにわたって家族を励まし、支援を続けられている。現在 45 都道府県の支部、会員は 1 万人にのぼる。

推薦者／財団法人 京都オムロン地域協力基金

上野 和彦 (58 歳 / 愛知県日進市)

幼少時の大やけどを負い、熱傷をもって生きる困難さを身を持って体験した理容師で、全国の熱傷体験者とその家族への頭髪、整肌に関する無料出張相談やニーズにあったかつらの製作など、36 年にわたり活動を続けられている。相談件数は 4 万 3 千件にのぼり、5 千人近いかつらを製作されている。

推薦者 / 日本熱傷ボランティア協会

NPO 法人 自殺防止ネットワーク風 (千葉県成田市)

平成 4 年頃、成田市の僧侶である代表者のもとに自殺を示唆する人が訪ねて相談に来るようになったことから、電話相談活動を始めた。その後 NPO 法人の認定を得て、各地で独自に自殺防止活動に取り組んでいる僧侶らに協力を呼び掛け、現在 17 都県 23 ヶ寺が宗派に関係なく 24 時間対応のネットワークの相談所を担い自殺防止活動を続けられている。

推薦者 / 社会福祉法人 輝雲会 愛川すくすくステーション「手まり学園」理事長 藤木 隆宣

社会福祉法人 千葉いのちの電話 (千葉県千葉市中央区)

平成元年に「日本いのちの電話連盟」の 33 番目のセンターとして設立されて以来、一人でも多くの自殺を防ごうと、約 300 名のボランティアが 24 時間体制で悩みの電話相談に当たっている。設立以来受け付けた相談数は計 46 万件以上。インターネット相談、対面相談も行っている。自殺者の遺族が互いに支え合う会「ひだまり」も主催されている。

推薦者 / 千葉県いのちの電話協会 会長 安田 敬一

茂 幸雄 (66 歳 / 福井県福井市)

福井県の東尋坊を管轄する警察署で勤務するなかで、同所で年間 20 名以上も自殺者が出る現実を目の当たりし、定年退職後の平成 16 年から自殺企図者を保護する活動をしている。会員のパトロールにより自殺企図者を保護した後の生活支援、自立支援などの自殺防止活動に取り組み、270 人以上の命を救われている。

推薦者 / 福井こころの電話 代表 浦田 光寿

特定非営利活動法人 外国人医療センター (愛知県名古屋市中村区)

言葉や法律の壁により不利益な立場に陥りやすい状況にある外国人の医療支援を目的とし、平成 10 年に名古屋市に設立された。外国人無料健康相談会、電話・メールでの情報提供、啓発活動など行い、なかでも外国人無料健康相談会は、医師、歯科医師、看護師、通訳などの専門職種も含め、年間延べ人数約 230 名のボランティアの協力を得ながら、通算 145 回、延べ人数 2095 名の相談者に対応されている。

推薦者 / 杉浦 裕

^{がい}・^{ごーるど}
V・GOLD（北海道旭川市）

盲導犬の育成一頭に 500 万円かかるといわれるが、その内の 75%を寄附に頼っていることを知った北海道の税理士有志が平成 10 年にバンドを結成し募金活動をスタートした。目標額に達成し一度は解散したがメンバーを変えて再結成し、旭川市を中心にこれまでに 13 回のチャリティーコンサートを行い、通算 150 万円を寄付するとともに道内の刑務所の慰問も行なわれている。

推薦者／公益財団法人 北海道盲導犬協会 会長 志田 恭司

^{きかうえ} ^{かずこ}
坂上 和子（56 歳／東京都江東区）

新宿区の国立国際医療センターで、入院している子どもの訪問保育士としての経験を活かし、親や看護師からの要望もあり、平成 3 年に同センターに「病気の子ども支援ネット 遊びのボランティア」設立。多くのボランティアを養成しながら、昨年度は年間 161 回、同センターを中心に都内の病院を訪問し、延べ 807 人の子どもに対して、ボランティア延べ 944 人が参加し、病気の子どもとその家族を支える活動を続けられている。

推薦者／東京ボランティアセンター・市民活動センター 所長 山崎 美貴子

^{うちだ} ^{かずこ}
内田 和子（70 歳／東京都八王子市）

養護施設を退職後、里親登録し里親としてのキャリア 22 年。八王子市で昭和 63 年に 3 歳の子どもを受託されてから「里親として子どもをきちんと育てたい。子どもの数の多さより、責任をもてる範囲で養育したい」という信念で 10 人の子どもを大切に育てられた。昨年度からファミリーホームの認可を取得。また NPO 法人東京養育家庭の会のみどり支部に属し、後継者を育て、地域の人々の触れ合いを活性化するなどの活動も続けられている。

推薦者／武井 優

^{やまさき} ^{いつせい}
山崎 一誠（74 歳／島根県出雲市）

荒れ放題になっている山林を見かねて、平成元年頃から植林と整備に取り組み、小学校長退職後島根県三瓶山の西 10 キロ地点で合わせて 10ha の山を購入し、1 万本もの杉や檜を植林し枝打ち、草刈りなどの重労働をしながら山の環境保全を 20 年にわたり続けられている。

推薦者／神田 一美

^{うきはら} ^{こうじ}
植原 康治（82 歳／群馬県前橋市）

昭和 62 年に勤めていた会社を定年退職後、朝の散歩で通りかかった JR 新前橋駅前の駐輪場に乱雑に置かれた自転車が目に留まり「誰かがやらなければ」と何気なく整理を始めてから 22 年間、ボランティアで早朝から毎日 1 時間半かけて 600 台以上の自転車を整理されている。

推薦者／竹之内 文男

^{でいお}
Dioクラブ太助（千葉県柏市）

代表者が在職中に社会福祉の通信講座を受けて在宅介護の必要性を感じ、高齢者や障害者のバリアフリー工事などの負担の大きいことを知り、日曜大工の技術を活かし材料費と交通費のみで家の悩みを引き受けるボランティア活動を平成 12 年から始めた。はじめは一人だったが、同市にクラブを設立しボランティア仲間やロコミで一級建築士や大工経験豊富なメンバーが集まり、柏市や流山市で活動されている。現在クラブ員約 12 名、700 件の家の修理や補修を実施した。

推薦者／柏市社会福祉協議会

^{たけうち} ^{ほいいち}
竹内 敬一（56 歳／山梨県北杜市）

昭和 58 年に八ヶ岳で山小屋経営を始めたころから山岳救助活動に携わり、平成 2 年に山梨県の長坂警察署山岳救助隊に参加。27 年の長期にわたり、八ヶ岳や甲斐駒ヶ岳を中心とした遭難現場に出動し、困難かつ危険な救助活動を克服し多数の遭難者を救助している。また、平成 12 年に救助隊隊長に就任し、現在に至るまで、山岳救助活動や登山者の遭難事故防止活動の中心となって活動されている。

推薦者／財団法人 警察協会 会長 今泉 正隆

^{やまぐち} ^{てつじ}
山口 哲二（82 歳／佐賀県伊万里市）

児童生徒の交通事故防止に非常に熱心に取り組み、昭和 47 年に伊万里市の交通安全指導員に就任し、交通安全指導とともに指導員の育成にも力を入れ、伊万里市交通安全指導委員会の基礎作りを行なうとともに 38 年にわたり一日も欠かさず早朝から街頭指導を行い、児童生徒一人ひとりに声をかけ交通事故防止に努められている。

推薦者／伊万里市役所

くるみクラブ（東京都三鷹市）

昭和 40 年に中央大学の体育授業でラグビーを経験した学生たちによって結成されたクラブで、社会人、大学生を中心にスポーツを通じた仲間づくりと青少年の育成に 45 年に渡り取り組んでいる。また、クラブの有志が共同生活する「寮」を三鷹市で運営しており、社会生活の基礎となる人間関係をスポーツを通じて育むとともに近年は不登校や引きこもりなどの経験を持つ若者も受け入れるなど通算で 1 万名のクラブ員、1 千名以上の寮生活経験者を送り出されている。

推薦者／NPO 法人 日本ソーシャルマイノリティ協会

^{はこだて} ^{かい}
函館ひまわりの会（北海道北斗市）

学校外においても障害のある子どもたちが活動できる場として、昭和 61 年函館市で設立され今年で 25 周年を迎える。特別支援学級の生徒もマラソン大会で完走できる様に、そしてたくましい精神と気力を育もうと、先生や父母の協力のもと会を結成し、パラリンピック選手を輩出するまでに至った。夏の日曜は五稜郭でのランニング、スキー教室をしたり、ヨットのセーリングなど障害のある児童や大人に至るまで、学校外においても様々な体験ができる場となっている。

推薦者／天野 真樹

木村 義次 (92 歳 / 徳島県徳島市)

「鳥雲」という徳島県出身で戦時中モンゴル人の養父母に匿われて育ち、同国の教師となり後にモンゴルの砂漠の緑化に尽力した人物に感銘を受け、同志を募り中国内モンゴル自治区の沙漠緑化大作戦を平成 8 年から開始し、延べ 18 回、800 名、300 万本の植樹をした。また、植林の他に平成 11 年から中、高生対象に奨学金を 8 名に贈り続けるとともに、小学校 3 校、中学校寄宿舎 1 校を建設されている。

推薦者 / 上野 隆

梅本記念歯科奉仕団 (大阪府大阪狭山市)

昭和 25 年に大阪歯科大学梅本芳夫教授 (故人) が学生にハンセン病を病む人々に生きる希望と喜びを取り戻すために歯科治療の奉仕活動と呼びかけたのが始まりで、外界から隔離された患者や回復者の歯科診療をした。60 年代後半からは日本国内だけでなく台湾、韓国の療養所でも診療をはじめた。特に韓国での活動は高く評価され、その後タイやベトナム、ラオスなどアジア各国でも奉仕団による診療や治療そして人材育成などの 60 年にわたる奉仕活動が続けられている。

推薦者 / 紀伊國 献三

社会福祉法人 国際視覚障害者援護協会 (東京都板橋区)

昭和 46 年に日本に留学中の視覚障害者 4 名によって母体のクラブが設立され、発展途上国の視覚障害者が日本で学び、自国の視覚障害者福祉を発展させられるリーダーを育成できるように奨学金制度を作った。平成 7 年に社会福祉法人として認可され、アジア、アフリカなど 17 ヶ国の視覚障害者を留学生として日本に招いて勉学する機会を提供し、経済的自立を可能にする職業としての理療や IT 技術を修得してもらうことを目的に活動されている。40 年で 70 名に支援をされている。

推薦者 / NPO 法人 六星

NPO 法人 希望の車いす (東京都練馬区)

日本国内の老人介護施設やリース会社から不要になった車いすを、ボランティアの手で修理、整備そしてきれいに磨きあげ、アジアに贈る活動を 10 年続けている。輸送には出張や旅行でアジアに渡航する人を募り、空港で受け渡し現地まで運んでもらう。これまで 9 ヶ国合計 430 台以上の車いすが送り届けられている。

推薦者 / 水戸聖書バプティスト教会 川崎 満

森本 喜久男 (63 歳 / カンボジア王国)

カンボジアの伝統絹織物である絹緋に魅せられ、1995 年にクメール伝統織物研究所を設立し、内戦により失われつつあったクメール織の技法復活と貧困層の支援のため活動を始めた。2003 年にアンコールワットがあるシェムリアップの広大な敷地で「伝統の森プロジェクト」を開始し、養蚕、餌となる桑の植樹、染料になる虫の育成から糸を紡ぎ、染色、機織りと製品化までの全てがこの森で完結する伝統織物の継承とさらに食糧の自給生産から教育の全てをまかなうための施設を運営されている。

推薦者 / NPO 法人 ふるさと南信州みどりの基金

NPO 法人 かものはしプロジェクト（東京都渋谷区）

カンボジアを訪れた際に同国の児童買春の存在に衝撃を受け、その撲滅を目指して活動をしている。貧困が理由でこの問題が起きていると知り、「かものはしプロジェクト」という NGO を平成 17 年に設立し、地元の作物を使ったブックカバー等を製造し、雇用を創出して貧困から脱却する事に加え、被害に合う子どもたちを水際で食い止めるために、地元の NGO と共に孤児院の経営や警察官の意識改革のためのトレーニングプロジェクトへの助成などの活動をされている。

推薦者／木村 雅美

谷垣 雄三（69 歳／ニジェール共和国）

昭和 54 年に産業医として西アフリカ・ニジェールに派遣された後、57 年から JICA の派遣医師として 19 年間勤務。その後も現地で医療活動をすることを希望し現在に至る。私費を投じて病院を造り、診療し、年間千件に渡る手術を行ってきた。途中 JICA からの援助が打ち切られた平成 13 年からは、医師仲間や出身地の高校の同級生の助けをかりて、30 年もの長きにわたり医療活動を続けられている。

推薦者／財団法人 京都オムロン地域協力基金

川原 高行（45 歳／スーダン共和国）

日本大使館の医務官としてスーダンに赴任していたが、多くの子どもがマラリアやコレラで亡くなるのを目の当たりにしながらスーダンの人々を診察することが許されないことに葛藤し、平成 17 年に外務省を辞め、スーダンで医療活動を始めた。活動の基盤となるスーダン初の NPO 法人ロシナンテスを設立し、出身地の高校や大学の OB からの寄付や帰国した際の講演活動で活動資金を賄っている。医療活動の他、現地での学校建設にも取り組まれている。

推薦者／NPO 法人 ロシナンテス

Lawrence F. Campbell（68 歳／アメリカ合衆国）

1960 年代にジャマイカの農村地帯で地域開発事業に参加したことから人の教育やリハビリテーションに強い関心を抱き、1964 年からその分野に従事し、その後 30 年以上にわたりアジア、アフリカ、ラテンアメリカで視覚障害児の教育機会の向上のため尽力し、多くの視覚障害児が勉強に励み社会に参加できることを願い活動を続けられている。

推薦者／千葉 寿夫

3. 特定分野の功績 5 件（3 名 2 団体）

「海の貢献賞」

- ・海的安全確保、環境保護、汚染防止等に尽くされた功績
- ・海に関する産業分野において
 - 傑出した技能による同分野への貢献と技能の伝承に尽くされた功績
 - 優れた発明・考案・改良等により同分野の発展に尽くされた功績
- ・海に関わる文化の発展・保存・伝承等に貢献された功績

和白干潟を守る会（福岡県福岡市東区）

昭和 63 年に結成された会で、福岡県の博多湾東奥部にある和白干潟の保全活動を続けて 22 年になる。和白海域の水鳥の調査や干潟のクリーン作戦、同海域の水質調査や一般市民を対象とした和白干潟まつりの開催など和白干潟に根をおろした環境保全活動をされている。平成 21 年は年 12 回開催のクリーン作戦は延べ 304 名、年 10 回開催の自然保護観察会は延べ 458 名参加。

推薦者／和白干潟を守る会

特定非営利活動法人 南の島々（ふるさと）・守り隊（沖縄県八重山郡竹富町）

沖縄県の竹富町の鳩間島で、漂着ゴミを憂いていた代表者を中心に平成 21 年に組織された NPO 法人で、海岸に漂着した発泡スチロールを油化プラント装置にかけ、ディーゼルエンジンやボイラーの燃料として使用できるスチレン油を抽出し海岸の美化と消エネ効果を高める活動をされている。

推薦者／社団法人 日本海難防止協会

金城 浩二（40 歳／沖縄県読谷村）

沖縄県の読谷村で、白色化した珊瑚の無残な姿をみて、順調に経営していた店を譲渡し、平成 10 年から珊瑚の養殖を始めた。珊瑚の養殖は容易ではなく、借金を抱え苦勞しながらも研究を重ね、同 19 年に素人でありながら移植した珊瑚からの産卵を成功させ、株を育て移植し珊瑚礁の再生と海に対する理解を深めるための啓蒙活動が続けられている。

推薦者／田中 律子

大門 清春（59 歳／広島県広島市安芸区）

昭和 45 年に原油タンカーを陸上のタンクへ移しかえる際の荷役装置のポンプとタービンの専門メーカーである広島市の（株）シンコーに入社。原油荷役装置のケーシング部品の加工に高い技術を発揮し、加工システムを確立し加工時間に著しい成果をあげ、製品の生産の大きな礎となるなど造船業界の発展に尽くされている。

推薦者／社団法人 日本舶用工業会 会長 赤坂 全七

中尾 福良（79 歳／広島県福山市）

昭和 24 年に広島県の内海町の船大工に弟子入りして以来、和船造りを今日に受け継ぐ船大工として、打瀬船やコギ船と呼ばれる漁船や遊覧船を製造。現在も現役で和船の修理を依頼先に出向いて行なうなど 60 年以上にわたり和船の技術の伝承のために尽くされている。

推薦者／福山市教育委員会 教育長 高橋 和男